記者発表資料

忘れない、水害への備え
～羽越水害50年～

羽越水害５０年行事　　平成２９年８月１８日

家族みんなで学んで体験！
『最上川防災フェア』開催
～ゲリラ豪雨展同時開催～

昭和４２年「羽越水害」から５０年の節目を迎えるにあたり、水害から身を守る防災について考えるきっかけとして『最上川防災フェア』を開催します。気象予報士森田正光氏の講演や防災について学んだ小学生の学習報告会、各種体験型展示など家族みんなで学んで体験できる催しです。

また、雨の現象や防災のポイントを、映像や音、体験コーナーなど五感を使って学べる体験型展示『ゲリラ豪雨展』を同時開催します。

１．日時

①最上川防災フェア

平成２９年８月２６日（土）　１０：００～１５：３０

・オープニング　１０：００

・屋内外展示　１０：００～１５：００

・ステージイベント　１２：４５～１５：３０（開場１２：１５）

②ゲリラ豪雨展

平成２９年８月２２日（火）～平成２９年８月２６日（土）

９：００～１７：００

（２２日は１３：００から、２６日は１５：００まで）

２．場所

シェルターなんようホール（南陽市文化会館）

３．入場　無料

４．内容

各チラシのとおり

５．「最上川防災フェア」来場者特典

①最上川カード１枚以上持参の方、先着１００名に１セット（全２０枚）配布します。

②最上川カード全種持参の方、後日記念品を進呈します。

③小学生以下先着１００名に「水防災かるた」を配布します。受付にて整理券配布、ステージイベント終了後お渡しします。

※最上川カードは、羽越水害５０年巡回パネル展会場で会場毎１種類配布してます。
※水防災かるたは、読み句を公募し作成しました。

６．　実施主体

羽越水害５０年行事実行委員会

国土交通省・山形県・山形市、米沢市、寒河江市、村山市、長井市、天童市、上山市、東根市、南陽市、西川町、山辺町、中山町、河北町、朝日町、大江町、高畠町、川西町、白鷹町、飯豊町、小国町　（一社）東北地域づくり協会、美しい山形・最上川フォーラム、NPO 法人最上川リバーツーリズムネットワーク（公社）土木学会東北支部

羽越水害５０年特設サイト
http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/uetsu50/

忘れない 水害への備え　検索

「水害から身を守る」出前講座！随時実施中！
地域の小さな集まりから、
学校・会議までどこでも参ります！

＜発表記者会：山形県政記者クラブ・米沢記者倶楽部＞

＜問い合わせ先＞

事務局　：国土交通省　東北地方整備局
山形河川国道事務所調査第一課
山形市成沢西四丁目３－５５（℡　023-688-8933）
調査第一課長　小出（こい）　博（でひろし）（内線351）

忘れない、水害への備え
～羽越水害50年～

入場無料

家族みんなで学んで体験
最上川防災フェア



日時 平成29年 8月26日(土) 10:00～15:30

◆オープニング 10:00 ふうせんリリース!

◆屋内外展示 10:00～15:00 ◆ステージイベント 12:45～15:30

場所 シェルターなんようホール

同時開催



はたらく車大集合



土石流模型実験

大雨体験館



楽しく学べる防災講座[ホール内]

ゲリラ豪雨を学ぼう展



お天気キャスター／気象予報士

講演 森田正光氏

Masamitsu Morita

1950年名古屋市生まれ。
日本気象協会を経て、1992年日本初のフリーのお天気キャスターとなる。同年、民間の気象会社(株)ウェザーマップを設立。親しみやすいキャラクターと個性的な気象解説で人気を集め、テレビやラジオ出演のほか、全国で講演活動も行っている。2005年日本生態系協会理事に就任し、環境問題や異常気象についての分析にも定評がある。
著書に『大手町は、なぜ金曜に雨が降るのか』『理不尽な気象』ほか。

会場／シェルターなんようホール



甚大な被害をもたらした羽越水害から、平成29年8月28日で50年をむかえます。

教訓を活かして水害から身を守る防災について考えるきっかけとして開催します。



主催／羽越水害50年行事実行委員会

国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所、国土交通省東北地方整備局最上川ダム統合管理事務所、国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所、国土交通省北陸地方整備局飯豊山系砂防事務所、気象庁山形地方気象台、山形県、山形市、米沢市、寒河江市、村山市、長井市、天童市、上山市、東根市、南陽市、西川町、山辺町、中山町、河北町、朝日町、大江町、高畠町、川西町、白鷹町、飯豊町、小国町、(一社)東北地域づくり協会、美しい山形・最上川フォーラム、NPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク、(公社)土木学会東北支部

後援／東北電力(株)山形支店、JR東日本 山形支店、東日本高速道路(株)山形管理事務所、NTT東日本 山形支店、NHK山形放送局、山形新聞・山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、ダイバーシティメディア、エフエム山形、山形コミュニティ放送 、朝日新聞山形総局、産経新聞社山形支局、毎日新聞山形支局、読売新聞山形支局、時事通信社山形支局、共同通信社山形支局、日本経済新聞社山形支局、河北新報社、米澤新聞社、建設新報社、東北建設工業新聞社、建設新聞社山形支局、(一財)河川情報センター仙台センター、山形県農業協同組合中央会、山形県商工会連合会、(一社)山形県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、山形県内水面漁業協同組合連合会、(一社)日本建設業連合会東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)建設電気技術協会東北支部、(一社)日本建設機械施工協会東北支部、(一社)日本橋梁建設協会東北事務所、(一社)東北地質調査業協会、(一社)山形県測量設計業協会、(一社)全国特定法面保護協会東北地方支部、(一社)日本道路建設業協会東北支部、山形森林管理署、置賜森林管理署、東北運輸局山形運輸支局、生活クラブやまがた

【問い合わせ】羽越水害50年行事実行委員会事務局(国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 調査第一課) 〒990−9580 山形市成沢四丁目3番55号 TEL:023-688-8933 FAX:023-688-8438

オープニングセレモニー

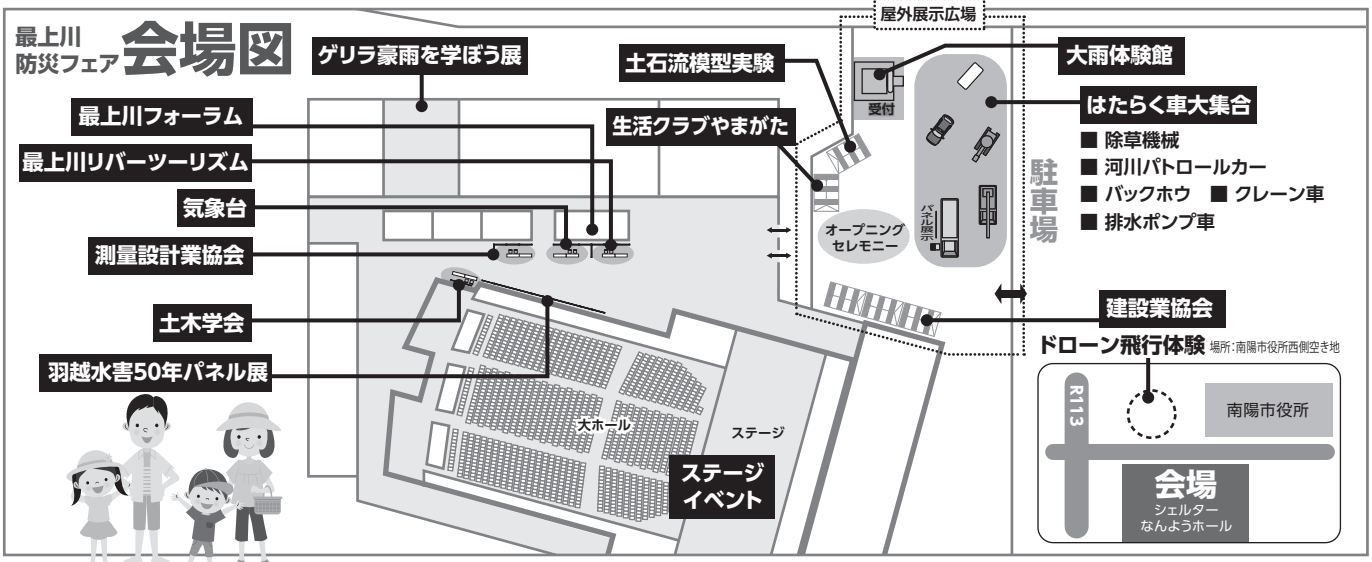
10:00　　屋外展示広場



ステージイベント　※途中入場・退場は自由です。

大ホールの開場時間（12:15）

時　間	タイトル
12:45~13:00	演奏／赤湯温泉暴れ獅子太鼓振興会
13:00~13:15	防災講座① 防災映像『羽越水害を振り返る』
13:15~14:05	防災講座② 防災講演『豪雨災害にどう備えるか』　お天気キャスター／気象予報士　森田正光 氏
14:05~14:15	『水防災かるた紹介』
14:15~14:25	休憩
14:25~14:45	合唱／やまのべ少年少女合唱団（山辺町）
14:45~15:20	学習報告会／コーディネーター：NPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク代表理事　佐藤五郎 氏 ○お天気キャスター／気象予報士　森田正光 氏　○南陽市長 白岩孝夫　○東北地方整備局河川部長 ●飯豊町立手ノ子小学校「一日ダム管理所長」　●南陽市立赤湯小学校「こどもまち歩き!」
15:20~15:25	子ども達からの防災宣言
15:25~15:30	閉会の挨拶



申 込 み 方 法

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。 FAXで申込みをされる場合は、本用紙をこのままFAXして下さい。メールで申込みをされる場合は、本文に必要事項を記入し、下記アドレスまで送信して下さい。

■ 国土交通省山形河川国道事務所 調査第一課

TEL 023-688-8933　FAX 023-688-8438

E-mail thr-761uetusuigai@mlit.go.jp

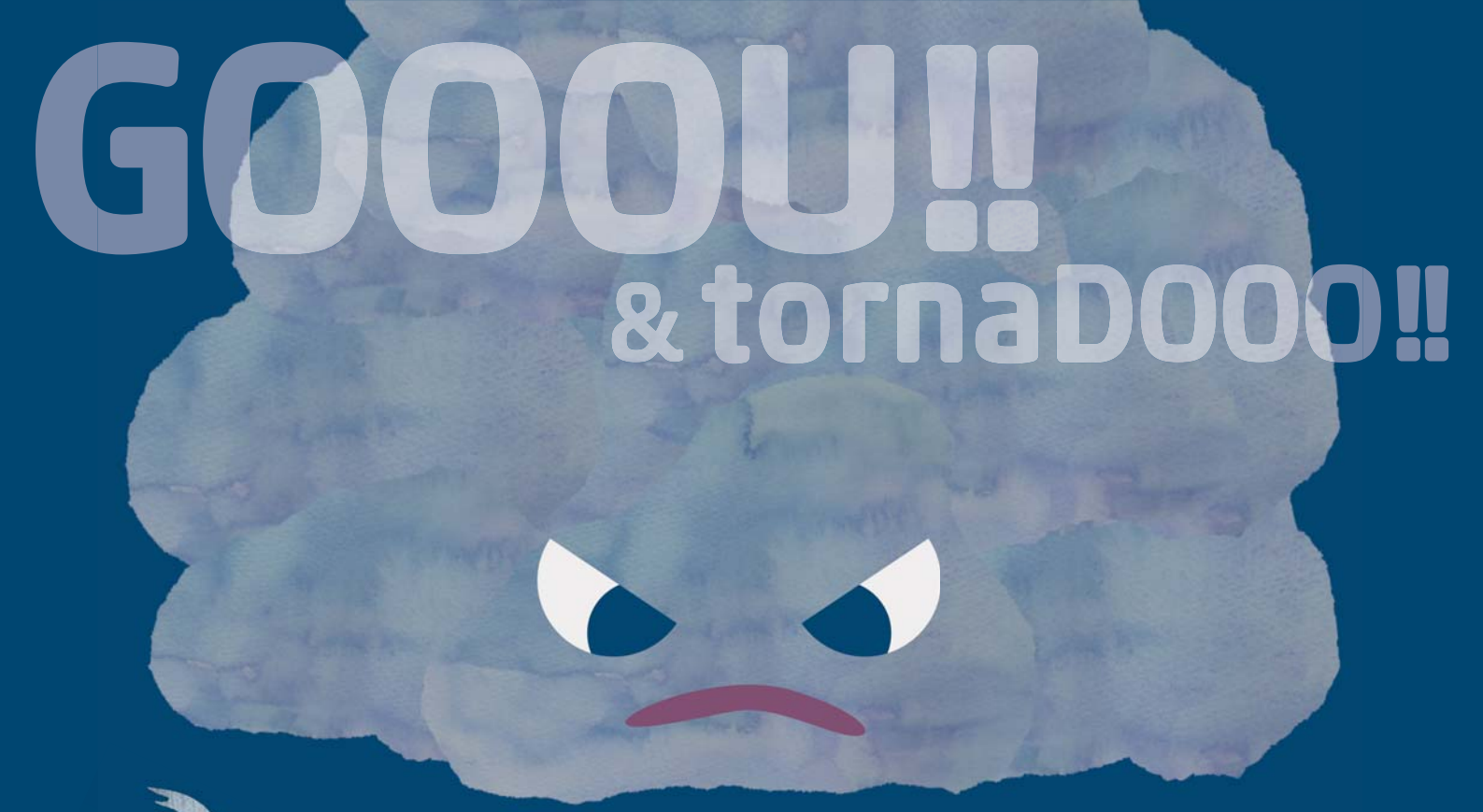
HP 開催案内及び参加お申し込みは、羽越水害50年特設サイトのホームページにも掲載されています。
http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/uetsu50/

参 加 申 込 書

氏　名	氏　名	氏　名	氏　名

代表者連絡先			
住所（ご住所は市町村までかまいません）			氏名
TEL	FAX		E-mail

※用紙が足りない場合は、本紙をコピーしてご使用ください。　※個人情報は本会開催に必要な範囲のみ利用させていただきます。



ゲリラ豪雨展

巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」

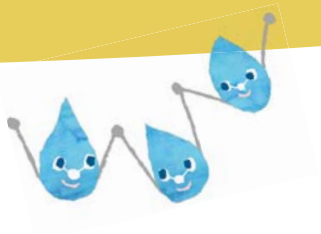








「ゲリラ豪雨」って何だろう？
その仕組みと恐ろしさを体感して、
危険から身を守ろう！



【開催館】シェルターなんようホール（南陽市文化会館）
【開催期間】平成29年8月22日（火）～8月26日（土）
【開館時間】9：00～17：00（22日は13：00から、26日は15：00まで）

【主催】国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
【共催】一般社団法人 東北地域づくり協会
【企画制作】水の巡回展ネットワーク 【協力】NPO法人気象キャスターネットワーク、ファンザミューズ
東京学芸大学環境教育研究センター、東京学芸大学グラフィックデザイン研究室、
日本河川・流域再生ネットワーク、九州産業大学 芸術学部メディアラボ331

【展示内容】ストーリー展示（ゲリラ豪雨発生から収束）、
解説パネル展示、河川の増水等の映像展示、
聞き雨展示、雨の重さの体験展示、等。



国土交通省

jawanet japan water exhibition network

Our Life, with River 河川整備基金

公益財団法人河川財団による
河川整備基金の助成を受けています



ゲリラ豪雨展

巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」

■ 巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」

「ゲリラ豪雨？」「１時間に３０ミリの雨？」。聞いたことはあるけど上手く説明できない雨の現象や防災のポイントについて、わかりやすく紹介します。

水は私たちの生活にとって欠かせないものですが、私たちの生活に大きな影響を及ぼすこともあります。ゲリラ豪雨による河川の急な増水によって、多くの人の命が失われたことは、みなさんの記憶にも新しいことでしょう。

この企画展では、「ゲリラ豪雨の発生から収束」を学校帰りの小学生の行動をたどるストーリーで、また「雨の降る仕組み」や「ゲリラ豪雨と集中豪雨の違い」、「身を守るためのポイント」を図解でわかりやすく展示しています。他にも映像でみる「ゲリラ豪雨の影響」や「雨つぶのかたち」、「降った雨の重さ」を体感できるコーナーなどもあります。

雨の大変さや怖さをあらためて認識し、危険を察知するために大切なことは何なのか、みんなで一緒に考えてみましょう。

シェルターなんようホール（南陽市文化会館）

【開館時間】9：00～17：00
【休館日】毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
【入場料】無料
【交通】東北中央自動車道　山形上山ICから約30分
　　米沢南陽道路　南陽高畠ICから約9分
【住所】〒999-2232 山形県南陽市三間通430-2
【電話】0238-40-1222
【HP】http://nanyoshi-bunkakaikan.jp/



～羽越水害から50年～

羽越水害から平成29年8月28日で50年を迎えます。この、歴史的災害の教訓を忘れることなく、近年多発する水害への備えを、行政、地域、家庭の目線から学び、考えます



ひかりあめ

見たり・聞いたり、体感しながら雨の大変さや怖さが学べます。スクリーンの中で、降り注ぐ雨のような光に触れられる仮想展示もあります。



■この展示の企画制作：この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。

jawanet
japan water exhibition network